京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

●非律賓賣却論

（紐育タイムス）

コロラド州デンバー市發刊のイヴニング・ポスト紙は左の非律賓賣却論を掲げ、之を各州知事、代議士、上院議員新聞記者に頒布してその贊否如何を問へり。

米國が米西戰爭中已む無く非律賓島を領有してより已に十二星霜を經たり、該島領有の當初より米國は同島の秩序回復し、鞏固なる政府の確立を俟つて之を非島人に還附するの意ありたり、然るに米國は非島人が自から責任ある政府を建つべく十二分に開化の域に在らざるを諒知し、爲めに泰西の文化を同島に移植せんとしたる努力は全然之を水泡に歸し、十二年以上同島經營に從事したりしも、同島人は依然として自治の能力無し。是に於てか吾人は此の難題の解決方法を擧げて廣く之を江湖に問はんと欲す。由來米國は非律賓を欲せず又決して過去に於て所望したることなし、蓋し殖民地を領有し或は海外の人民を支配するは米國の政策に反し、非律賓人は米人の支配を受くるを肯んせざるのみならず、同島人は開化の域に進むに非ずんば自治の能力を有せざるべく、同島人を文明の域に誘掖するは米國の終に能くする所に非ざるなり。即ち此難題を處理するの最良方法は寧て同島を所望し、其の文化は同島人の性格に適する某國に讓渡するに在るや明かなり。某國とは他無し日本即ち是れなり。この蕞爾たる島帝國は人口過剩に苦み、之が移植地を求めざるべからず。日本人は既に朝鮮に橫溢し、進んで滿洲國境に向け雲集しつゝあり、非律賓は日本の附近に位し地理上甚だ利便なるが故に日本人は常に同島を所望し居れり、若し一旦米日干戈を交へんか日本は則ち同島を占領すべく、之を回復するには鉅億の費を要すべきなり。非律賓人及日本人は彼我の意中を解すと雖も非律賓人及米人は斷じて彼我の意中を解する能はず、事情此の如くなるを以て米國は須らく非律賓を日本に賣却し、其賣却費賣却後年々節約せらるべき同島政費を西部の不毛地及南部の水害地開墾費に充つべし。斯くせば米國は國境内の宏大なる土地を農耕と爲すを得べく、出費多く且つ危險なる海外の領土を經營するの煩を免れ、永遠に亘りて日本の友邦と爲り同時に日本人及比律賓人に利澤を與ふるを得ん。

●國分檢事長の談

臺灣出張中痛切に感じたるは交通機關の整備せることとなり全島の十分の六は蕃地に屬し裁判管轄區域外にして殘餘の十分の四面積千四十方里即ち朝鮮全土の十三分の一が管轄區域に屬するのみにて裁判所の數少なきに係はらず些の不便をも感ぜざるは全く交通機關の整備せるに因するものなり基隆より打狗に通ずる縱貫線あり此の鐵道沿線兩側の各停車場には恰かも百足蟲の如く手押輕便鐵道あり其の數四十二箇所に達し普通道路の片側に一尺五寸乃至二尺の鐵路を敷設し二尺四方の板に双輪を付けて一臺四人貨物にして六十貫の運搬力あり一人乃至二人の人夫が惰力を利用し或は竹を以て恰も舟を漕ぐが如く巧みに進行せしめ一時間二里を走ること容易なり而して乘車賃を上中下の三等に分ち上は一人乘り二人押しにて一里十錢中は二人乃至三人乘りにて七錢下は四人乘一人押しにて五錢と云ふ廉價にして上中には輪又は腰掛の設備あり敷設並びに經營上多額の費を要せず至極簡單にて大抵一二割の收益ありと外に精糖會社の私設間線あり營業用百八十一哩專用四百四十九哩に達し手押輕鐵も營業用二百五十哩專用百哩ありて交通機關の發達せる眞に羨むべきものあり翻つて朝鮮の現狀を顧みるに開發上交通機關を整備するは刻下の急務にして鐵道敷設は好ましきことなるも斯かる大仕掛の事業は經費の點に就て其の速成を促す能はざれば寧ろ臺灣に於けるが如き簡單なる輕便鐵道敷設の遙かに有利なることを信ず殊に春川公州、清州等の如き京城附近にして往復に多くの日數を要する都會に於ては輕鐵速成の便益大なるものあるべし

外事一束

▲英人● 露の對波策に對し政府の說明あるも以て滿足せず英政府は宜しく露
▲政府● に迫り同國の波斯內政々配の要求を撤回せしめよと大に激昂を爲す
▲羅馬● 法王法令を發し加特力敎僧侶を普通裁判所に於て裁判するを禁ずと
▲瑞西● チューリッヒ州長フォレル博士は這回瑞西大統領に擧げられたり
▲印度● 政廳明春を以てデリーに移り同時にコンノート殿下總督たるべしと
▲米國● 元老院下院通過の米露條約破棄の件を通過せざることに決議したり
▲狂熱● 的排英ボイコット波斯シラス市に起り商人英兵に商品の供給を拒む
▲埃及● 南スターー岬附近に海上險惡の爲英皇族搭乘の艦船坐礁し佛蘭西
▲軍艦● 義勇なる盡力を爲して英皇族を始め一般乘客を危急より救ひたりと
▲歐洲● 人等印度が首都をデリーに移したるを以て不公正且有害也と驚愕す
▲次期● 大統領にルーズベルト氏を推す議西部地方に起もル氏默して語らず

新年和歌募集

勅題「松上鶴」　選者 九皐館去留

一、一人にて何首にても宜敷、用紙用箋は御隨意の事、但投詠者は住所氏名御明記の事
一、締切期限來る十二月二十五日
一、發表は四十五年一月元旦の本紙上を以てす

右は例年の通り勅題和歌募集致候に付同好の御方は從つて御投詠あらんことを

京城新報編輯局

●新刊紹介

◉ニコ〳〵● 口繪例に依つてニコ〳〵せる人物の肖像を掲げ記事又之れに件つて笑味横溢せり名士のニコ〳〵觀通の間不覺卷を了へしむ（一部十錢東京南金六町ニコ〳〵俱樂部）

◉書畫骨董雜誌● 『外國に美術販賣店を設くべし』の社說首肯するに足る秋山氏の『金家と信家』又讀むべし（一部十錢東京本郷區三組町書畫骨董社）

◉東京經濟雜誌● 『支那の動亂と財政』『直接稅統一論』『淸國の動亂と政局』は大に眼を發たらしむべき文字なり（一部十錢東京京橋區彌左衛門町東京經濟雜誌）

◉株世界● 『紡績業と朝鮮』は所說機宜に適ひ其の他記事又讀むべし殊に歡樂の販へるは喜ぶべしとなす（一部十五錢大阪東區今橋三丁目北濱株式店北友會）

◉外交時報● 『支那革命の容易に成らざる所以』『南米に於ける歐洲各國の勢力』は何れも堂々たる大文字其の他の記事も再讀に値す（一部二十錢東京赤坂區青山南町外交時報社）

梁川庄八

小金井蘆洲 演

第六十回

但『偖、早速岩沼の德兵衛を呼びまして、其方を呼んだのは外の事でもないが、我娘睦は其方主人梁川庄八と慇懃を通じ、胤を宿して居る、若し此事が表向になれば腹の子を闇から闇へ遣すやうな事が出來んとも計られん殊に又娘が門人と不義惡戯をしたとあつては外弟子の訓戒にもならぬ、就いては夫れを口實として腹の子諸共勘當とは云ながら、暫く其方宅へ預ける、出產後は母子共に健全に育つやう宜敷世話を致してくれ』と云て二百兩の養育金を添へて德兵衛へ頼みました、德兵衛は『德私は今日活計に困ると云ではなし此二百兩の金子は戴きません、主人の御胤をお宿しなされましたと云へば嬢様も矢張り手前の御主人様御養育申のが當然でございます決して此金子は頂きません』と云て其金を無理に押返して、直樣自分方へ但馬の娘お睦を引取つて參りました、月日の經つのは早いものでお睦は程なく月滿ちて、玉のやうな男子を產落しました德兵衛の喜悦は一方ではない、早速和田但馬方へ内々で報せる。但馬夫婦は人目を忍んで會いに來る。梁川庄八とは兄弟の契をむすんだ間柄ですから、齋藤外記の許へも報せる、外記も即時祝びに來る。產れた小兒の面影庄八に生寫しでございますから、外『是れぞ梁川家三代相續の好血統なり』と祝つて七夜に外記が名附親となつて、庄八の幼名庄太郎と命名した。母子共に產後の肥立ち宜しく、却々丈夫そうな小兒で御座ります、外記は每日德兵衛方へ來り何かと世話をする、其幼兒を抱き上げ 外『坊よ武勇は父に擬かるとも不逆は父に擬かるな』と涙を流し言ひ聞かせ、又お睦に向つて 外『斯る處に月を送つて居るのは如何にもお氣毒であるが、併し適れ勇士の胤を宿して玉の如き男子を擧げたのは、是れ眞に御身の手柄夫婦は二世と云から、此世で一緖になれずとも未來は蓮の臺の上にて庄八殿に見ね給へ』お睦は涙ぐみまして むつ『一度庄八殿と契りを籠めしのみならず一子を擧たる上は、最早私は今日から、惡染の衣を着たる心得假令夫が何地に赴くとも、此子の成長を樂みに生涯操を立る覺悟でございます』と聞て外記も大に感じ有繫は武士の娘勇士の妻なりと、頻りに擧立て、立歸りました、既に庄太郎は成長して三歳に相成つたが、城下では誰有て知るものがない、知て居るのは但馬夫婦と齋藤外記ばかり、夫故外記は此庄太郎に自分の頂く千石の祿を與へて梁川家再興させて遣らう、且つは庄八も未だ子供あることを知らずに諸國を流浪して居るに違ひないから、併せて此事をも申開けて遣らう、自分の死後梁川家が立つと云ふことを知つたならば、彼も甘んじて我が緬目に掛るに相違ない是より外に彼を召捕る工夫なしと疾うから考へて居りますから、自から請ふて捕手となつたので御座います、茲で外記はいよ〳〵出立することになりましたが其時分は日本國中到る所に關所がございまして東海道で箱根仙中道で碓氷甲州海道では小佛峠と云ふやうに、國々に關所がございます。別けて土佐と薩州では容易に他國の者を入ませぬ、今は世界を股に掛けて步ける世の中で御座いますから、通行遮斷など、云ふことはございませんが其昔他國人の入込むときは、或は我領內を探偵視察に來たのではないかと云ふやうな、疑を懷ることも屢々ございます夫故外記は此度捕吏として、庄八の行衛を尋ねるに就ても、國々の關所〳〵で遮られて空しく日數を費すやうな事があつてはならぬ、又庄八が自分の來たのを知つて、面倒臭い杯と思つて避けるやうな事があると、何年經ても彼に遇ふことが出來ない、斯くては此方の望みも達し兼ねると云ふ所からして、姿を變へて行かうと云ふ心得で御座ります、其時分香具師は日本中何處の國に參つても御餘目しと云つて、關所を手形なしで通ることが出來ます、そこで外記は一策を考へ付きましたと云ふのは、其頃仙臺城下に熊野伊三郎と云ふ、名高い香具師が御座りまして是れは熊の膽藥を商ふもので、領主より苗字帶刀を許され、特に熊の膽藥は、當時賢き邊りにも捧げましたのですから、營業御免の金看板を掲げて、國々を賣廻つて居りまする。

東京電報

▲英皇帝の虎狩　印度デリー來電に依れば十五日戴冠式を濟ませられたる英國皇帝は十六日午後一時虎狩りの爲めチバルに皇后陛下はアグラ宮に御發程あらせらる因に英皇帝御遭難說は右により其の虛報なるを證明さる

▲犬養氏と孫逸仙　犬養代議士の渡淸に就ては種々の臆說を逞うするものあれど革軍幹部の多數は多年彼れの敎養に待てるもの多く且又孫の歸來も迫り旁孫と會見せんが爲め渡淸せるものと察せられ向後の動靜大に注目に値す

▲選擧法問題豫測　選擧法改正問題に對する朝野の議論囂々たるが或る事情通の談に依れば斯かる議論の間に大小兩制論を折衷し中選擧區制と爲さんとする策略に非ずやと

▲行衛不明の寺尾博士　行衛不明となれる大學敎授寺尾亨博士は革命黨の依囑に依り帷幕の中にありと

▲關門の鐵橋と當局　關西九州地方の實業家は關門海峽架橋を私營にて計畫せんとて過般願書を提出したるが鐵道院にては鐵道統一並に軍事關係上政府事業とし民間には許可せざる方針なりと

北京特電

▲官軍媾和條件　媾和會議の第一回開會日取りは一兩日中に定まるべし袁總理より提出の媾和條件は十五ヶ條にして之れを基礎として會議を開く都合なりと

▲伊公使の盡力　十七日北京發電に依れば我伊集院公使と袁世凱との交情は極めて圓滿なり之れ蓋し日露戰爭當時伊集院公使は總領事として袁世凱は直隸總督として共に天津にあり互に親密に來往せし歷史的關係あるを以てなり今回唐紹怡を講和全權大臣として派遣せるに就ても同公使預つて力あり同公使が英國公使と共に講和成立に盡力しつゝあるは殆んど公然の秘密なりと

上海電報

▲媾和談判將來　講和に對する革命軍の態度强固にして日英兩國の講和談判にして若し不調に歸せんか某々强國は止むなく强壓手段に出づるやも計られずと觀測せらる

▲革軍臨時會議　上海革命軍臨時政府は十七日英國及日本よりの媾和に就き或る事件の保證に立つべき旨達せられたるが之れ革命軍政府の切望に基きたるものにして右保證通達は十七日の南京に開かれたる臨時政府會議に報告したると同時に上海に於ても臨時會議を開きたり

▲上海金融狀態　上海來電によれば講和見越にて市場は景氣恢復せり硬貨の欠乏のため金融逼迫し現政府の紙幣軍票は七八掛にても取引少なく一帶の金融は外國銀行及び外國商人に依りて占有されたる狀態にあり

▲上海横濱の商取引　上海の商人は續々横濱との商取引を開始し東京製のメリヤスシャツ靴等の注文多きが右は大阪品の粗惡なる爲め東京品を歡迎するに至りしなり

雜報

●移輸入超過と救治　朝鮮に於ける輸移入品は近來益々其の額を增加し本年一月より十一月末に至る超過は實に三千一百萬圓を數ふるに至れるが此原因は種々あるべしと雖も朝鮮總督府が鐵道港灣及治道等に多額の資金を投入したると恩賜公債の下附とは輸移入の超過を來さしめたる最大原因にして其の反響は鮮人の上流者に公債處分を以て購買力を增加せしめ下流社界に於ては昨年の豐作と各郡の鐵道及治道工事等にて一般に其の懷中を豊かならしめ而して從來使用せざりし石油を使用し又は衣類を新調する等著しく金巾及石油の輸入を增加せしめしものとて移輸入は非常の勢力を以て漸次增加し殆んど停止する處無きより當局に於ては之れが救濟策に就て頻りに考究中なるが今其の意嚮を聞くに其の第一は鮮人の敎育を根本的に改造し極めて實着の民たらしむること、產業政策を獎勵して移輸出品を增加すること、割增附小額の農工債券及郵便貯金を獎勵すること、穀物稅を全廢すること等なりと云ふ

●雲山金鑛の私伐　雲山金鑛會社が燃料缺乏の爲め先般已に官林の私伐を行ひ五千圓の賠償を出して纔かに其の罪科を贖ひたるにも拘はらず續いて發砲、毆打、監禁を爲す等雲山組との傷害事件を演出して世間の耳目を聳動したる事實は既報せし處なるが今回又々官林私伐を行ひ其筋の嚴達に遇ひて狼狽し頻りに善後策に苦心し居れりと近日同地方より歸來の某鑛山師は語れり

●營林廠の殖林開始　營林廠にては鴨綠豆滿兩江流域の森林經營に着手してより既に數年を經たるが何分經營着手以前鮮淸兩國が運搬に便利なる地方の伐採を盛んにせしめ比較的不便なる流域の伐採に從事せず多少の困難少なからざりしが既に官營建築に要する用材の使途も大部を終り目下主として朝鮮内の需要に充て居るのみなるを以て今後は從來伐採の儘放棄しある荒廢地の整理及天然更新に伴ふ植栽に從事する事となり明年度より殖林に着手すべしと云ふ

●鮮人の移住禁止　從來ポシェットより豆滿江下流に於ける朝鮮領土に接する地方に至る一圓即ちポシェット移住區に於ては年貢を納付して付與せられたる地區若くは移民地區として付與せられたる地區に於て耕作に從事し得るは獨り歸化鮮人のみにて外國人なる朝鮮人に對しては全く禁止せられ居るに係らず外國朝鮮人（日本帝國臣民の事）の同地區内に於て居在耕作に從事せらるゝのみならず同地區外なる官有地に於て迄でも居住耕作せるものは不都合にて沿黑龍總督「ゴンダッチ」は當該地方官憲に嚴達し今年中にポシェット地方に居住の權利を有せざる朝鮮人を同地方より退去せしめ今後再び斯かる者を入國せしめざる樣適當の措置を執ること〻なりたる旨浦鹽駐在本邦領事より其の筋に通報ありたりと

●上半期朝鮮貿易　十二月一日より十五日に至る上半期に於ける朝鮮貿易は輸移入出額三百十六萬九千九百五十三圓にして内輸移出額八十六萬○六百三十二圓輸移入額二百三十萬九千三百二十一圓なるが尙之れを本年一月以降同期に至る迄の貿易額を記さんに總額六千八百七十二萬五千○七十九圓にして内輸移出額一千七百六十五萬○九百三十二圓輸移入額五千百○七萬四千百四十七圓にして差引輸移入超過額三千三百四十二萬四千二百十五圓なりと云ふ

●内地人と製鹽業　内地人の朝鮮に於て製鹽を營むもの甚だ微々にして其許可を得たるもの僅かに二三人あるも何れも製產費の上に於て天日製鹽又は輸入製鹽と競爭する能はざるを以て自然廢業の姿となり居れるが昨今鎭海灣の海軍用地なる干潟地を借り入れ約三十町步余の鹽田を設け内地風の製鹽をなさんとするものあり當局に向つて製鹽の許可を請願し來りし由なるか果して收支償ひ得るか如何は頗る疑問なりと云ふ因みに釜山附近の龍湖鹽田約七千坪は其の附屬建物を合せ二十日貸下の入札をなす筈なるか右は最初天日製鹽試驗時代に於て内地式製鹽方法を同しく試驗的に試みたるもせにして爾來天日製鹽の分成功したるを以て殊更に燃料を多額に消費する内地式製鹽を官營するの要なきため一般公入札に付して希望者に貸下ぐるなりと云ふ而して同所に於ける製鹽高は最も多き時に於て一年約五十萬斤なりしとの事なり

●總督の着京期　去る十七日東京を出發したる寺内總督は二十一日朝下關着同日發二十二日朝京城着の豫定なり

●定例長官會議開會　十九日午前十時より總督府會議室に於て定例長官會議を開催し山縣總監、石塚、倉富、俵、宇佐美、明石、菊池の各長官、鈴木、岡本、小城の各長官代理等出席政務を協議し十一時三十分散會したり

●教育勅語印刷完了　曩に朝鮮に下賜されたる教育勅語は先般來印刷局に於て謄本印刷中なるが來る二十五日頃までに全部印刷完成の豫定にて出來の上は各道に配附すべしと

●金融組合增設完了　四十四年度内に於て增設さるべき金融組合三十餘ヶ所は今回全部開始濟となりたるが只一ヶ所のみ主任理事者の病氣にて開始せざるも既に定款及設立認可等を得居れば殆んど全部完了と見るを得べし

●朝鮮栽培の米國葉　太田及大邱の煙草試作場にて本年栽培せし米國葉約六十貫は過般來再乾燥のため内地專賣局に廻送中なりしが既に乾燥を終りたるが其成績を聞くに内地に於て栽培する米國葉の上等品と比較して寧ろ遜色なきを以て將來朝鮮に於ける米國葉の栽培は非常に有望なるべしと云ふ

取引所設立贊否意見（二）

▲韓漢城銀行支配人　曰く格別之れに對して研究したこともなく從つて確たる意見を述ぶること能はざれど取引所が設立さるゝとすれば從來京城經濟界の缺點であつた公定相場と稱するものも之れに依つて定め得る譯であるから其の設立の曉には朝鮮人射倖心の煽動等の如き弊害の伴ふことも避くべからざることであらうが其の利害を打算して寧ろ取引所を設立した方が一層時宜に適したるものにはあらずやと思ふ。

▲遠山鮮銀支配人　曰く京城取引所設立問題に就いては特に意見と稱すべき程のものを有せず併し强いて意見はと訊ねらるゝに於ては何れかと云へば尙早論者に加擔せざるを得ない即ち取引所の設立せられた結果は設立論者の唱ふる如く爲に京城の繁華を來すの事はあり得べしとするも果して其の繁華は永續すべきか一時的の性質を帶ぶる繁盛にあらざるや等を稽ひ且つ取引所なるものに隨伴する種々の弊害を思へば取引所設立の如き未だ尙早たるを信ぜざるを得ぬのである。

▲岡崎日韓瓦斯電氣專務　曰く取引所設立可否如何と云ふ問題に對しては我輩設立發起人の一人としては勿論又た暫く發起人たるの關係を離れて該問題を研究して見ると取引所設置の如き實に京城經濟界の急務で一日も早く其の設立を實現せしめなければならぬものに屬する廣く世界各國の狀勢に見るも何處如何なる國に於てか其の首都に一の引取所だに有せざる國があるか京城は既に今日に於ては一國の首都とは稱し得べからざるも而も半島第一の都會として八省百官悉く備はるの地で從來半島政治上の優勝權を占めつゝあつたのを轉じて今後漸く商業上の大勢力を占有せんとしつゝあり又た現在に於ても朝鮮第一の諸物貨集散地ではないか然らば今日に於て當地に取引所の設立を見るは必然亦自然のことである即ち取引所はパブリックプライス即ち公定相場を定め大部會に於ても其の物貨の數量の多少に拘らず之れを賣買するを得せしめ或る物貨の賣買を希望し其の機會なきに苦む者に對しては其の賣買の機會を與へ各種公定相場の定めらるゝ爲めに銀行業者金貸業者等が有價證券等の擔保に對する貸出の標準を知るを得しめ其の地方の金融を疏通し各種會社の創立を督勵し或は其の設立地域の商工業の發達を助長せしむる等其の間接直接に與ふるの利益は極めて多い彼の射倖心を助成せしむるとか存行爲が行はるゝとか云ふが如き普通取引所設立に伴ふ弊害なる分の如くに思惟せらるゝものは之れ決して取引所其物の害惡にあらずして實は夫れに從事する人々の心掛け如何に依るのであるから吾輩は此際其の筋が斯る取引所從業者に對しては特別なる法令を制定して之れが監督を嚴にするとしても是非之れが設立を許可するの至當なるを信ずるものである云々。

●共同倉庫合同計畫　漢城共同倉庫會社は政府よりの貸下金と多大の保護によりて一會社として存立するの必要なく寧ろ相當なる銀行に合同して營業するの甚だ得策なるを以て今回朝鮮商業銀行に合同するの内議あり既に兩者の重役間に於て合同の協議を整へ當局の認許を得次第合同條件に關する協商をなすべしと云ふ

●土地收用令の裁決　既報の如く總督府起工に係る南大門外道路擴張工事に要する用地及家屋移轉不承諾者鄭岡良梃に對し總督府は土地收用令第九條に依り裁決方を京畿道長官に申請したるに道長官は愈々去る十一日裁決をなしたるが朝鮮に於て土地收用令を適用したるは之を以て嚆矢とす

●商議臨時總會延期　在鮮商業會議所を代表して全國會議所聯合會へ出席したる深水京城會議所副會頭は過日歸京したるを以て各會議所へ報告すべき事項は目下京城會議所に於て調成中の由なるが京城會議所にては臨時總會を開き右につき深水氏報告する筈なるも年末に際し各自多忙なるに依り總會は來春迄延期すべしと云ふ

●工業傳習所卒業式　總督府工業傳習所にては來る二十三日午後二時第四回卒業式を擧行する由

●各學校の休暇短縮　官公立各學校にては來る二十九日より明春一月五日迄冬期休業をなす事に決定したるが從來の休暇よりは時日を短縮する事に改正されたりと云ふ

●滿韓日報愈廢刊　滿州安東縣に本社を有する滿韓日報は這回廢刊することゝなれりと

國有未墾地調査（二）

…八尋農商工部技手談…

尙昆陽郡に於て干潟地利用の爲め二ヶ所の潮止工事に從事しつゝあるを見たり更に慶尙北道延日郡の大塚農場に貸付けたる未墾地の成績を見るに同地は將來牧草栽培に利用する目的にて四年前より經營しつゝあり最初の兩三年は草生地を開墾して鮮人に耕作せしめ然る後牧草を植ね付くる方針にて既に五十餘町步に陸稻の試作をなせるに好結果を得たり未墾地の開拓利用上牧草の栽培は最も適當なるもの丶一種にて輕き水害地に於ても禾本科に屬するものゝ如きは大なる被害を見ずと又同農場附近にて大内某の經營せる未墾地は牧塲として三十頭の牛を放飼しつゝあり其他依托法により鮮人に托して飼はしむるものも少なからず尙防風林の設ける等萬般の施設完備し規模も亦廣大なり大邱附近琴湖江の中洲草生地に黑川某が四年前より果樹園を經營しつゝあり既に苹果梨等を植ね付けたるが生育良好なり地質は砂質壤土にして水害を被る地なるにも係はらず浸水時を短かき爲め果實を傷けることなく反つて亞土を運び來るを以て漸次土地肥沃となる桑樹の栽培も成績良好なり要するに未墾地利用は國有民有共に面積非常に多く南北兩道を通じて川邊のみにても九萬町步あり中國有地の貸付け高約千三百町步を算せり而して其の大部分は緖に就けるも未だ年數を經ざれば成績は前述の如きものなるが由來慶尙南北兩道は氣候も溫和なれば水利を修め開墾の方法を考究し作物の種類を撰擇せば有益に利用することを得べく殊に朝鮮に僅少なる竹材此の地方に限り處々を竹林を爲せるを目擊せしは地味の竹栽培に適するものと思惟す之れ亦未墾地利用上の一大富源なるべし云々（了）

●日本電通の記念號　當地日本電報通信支局は其創立五年記念の爲兩三日中に美麗にして趣味多き記念號を發刊すべしと云ふ

●大毎特派員の更迭　大阪毎日新聞特派員豐田哲輔氏本社詰となりたるに付後任者山口皐天氏十八日來任したり右に付當地記者團は兩氏の爲歡送の宴を開くべしと云ふ

●ベ氏夫人父君物故　仁川廣昌洋行主ベンチット氏夫人花子の嚴父グローパー氏は去る十六日東京に於て物故す右に付花子夫人は訃音に接すると同時に東上したり。聞くグローパー氏はスコットランドの產にして維新前我邦に來り故伊藤公を始め朝野の名士と交はり明治政府の爲盡力するところ尠なからず氏が先年敍勳せられたるは實に之れが爲めあり氏は有名なる高島炭礦の創業者にして亦た歐洲式採炭法を最初に我邦に紹介したる人なり。氏が其在世中各方面に向かつて貢獻したる所尠なからざるは世人一般の認むるところなるが今や其訃を聞く可惜と云ふべし

●露帝陛下の命名日　十九日は露帝陛下命名日に相當せるを以て露國領事館に於ては官民の祝賀を受けたり

●山縣政務總監往訪　山縣政務總監は十九日午前十一時三十分小松局長、山縣武官、兒玉秘書官等を隨へ露國總領事館に赴き總領事ルーシュ氏に面會し現皇帝陛下の命名祝典の賀儀を述べられたりと

●上田司令官の往訪　上田司令官は十九日午前十一時柴參謀長同伴露國總領事館に同國皇帝陛下の命名式祝賀に赴きたり

●明石少將と忘年會　明石少將は來る二十一日憲兵隊司令官として同隊と直接關係ある各官衙の高等官一同及警務總監部の各課視を花月に招待し忘年會を開催する由なり

●小原地方局長出張　小原地方局長は十八日出發忠北、慶尙南北の各地へ出張したるが約十日間の豫定なりと

●石田視學官の巡視　學務局の石田視學官は十九日市内官私立各學校を巡視したり

●佐々木唯市氏の東上　佐々木東亞實販賣所長は總會の要務を帶び二十一日東上の筈

▲公人私人

▲佐久間賢次郎（鑛山技師）十八日入城同日平壤へ

▲内野久雄（製鐵技師）同南尾へ

▲森悟（平安農工銀行鎭南浦支店支配人）同不知火へ

▲京城手形交換高▼

十二月十九日　三一八、二〇九、一三　八八七

▲治外法權▼

過日革命軍の首領孫逸仙が、歐洲からの歸路、一寸東京へ立寄つたとの噂があつたが、殆んど之と同時に、帝大の敎授で國際法の大家たる博士寺尾が、革軍の顧問に聘せられたとかで南淸へ渡つた▲國民黨の領袖犬養毅が多年南淸志士の爲めに盡し、彼等から受くる信望の程度は非常なものだ、彼の黃興なぞも犬養には非常に世話になつたもので、黃と孫とが肝膽相照すに至れるが如きも實は犬養の盡力に因つたものだ▲其南淸志士の親分たる犬養が十七日を以て革命狀況視察として淸國へ向かつた、同行者は頭山豪傑及び松平某、彼等が平和の使節たるか、將た風雲を起すかは、刮目に値ひす▲犬養の南淸行も良いが、記者は或人が言つた樣に、此際是非共大隈大伯を起こし、官革兩軍の間に立ち、平和の恢復に盡力させたいと思ふ▲黃や黎や孫や乃至袁や伯に對しては無限の信用を措くものから、事が談笑裡に纏まり、のみならず列國政府に於ても伯ならば其公平に信賴し、安心して何等手出しをせぬことと思ふ▲過日鮮人小作人から、小作米輕減の爲め、宇佐川總裁へ宛てた頌德表が來たとて夫れを披露に及んで恐悅がつて居た東拓會社は、江景地方に於て小作米取立の事から、鮮人小作人を密室に監禁した、トコロが事發覺に及び最近同社社員の菅村某は群山裁判所に於て懲役四ヶ月の宣告を受けた▲東拓の鮮人小作人虐待、之れを大にしては陛下の聖旨に背き、之れを小にしては總督の同化政策に悖る、宇佐川の責任や議會の問題として明かにすべしだ▲鮮銀の新建築は其外部は勿論内部の裝飾さいトウに出來上がつて居るのだが、引越入費の無い爲と、經費の膨脹を恐るゝが爲に、兎角引越を遲延して居るのだとは或人の話だ▲此頃各民團の民長と府尹との間に反目の沙汰があるなどと御用紙は言つて居るが、堂々たる民長の眼中には府尹などはないわ。

▲京龍兩驛の貨客▼

▲龍山驛乘降客（十八日分）

特別廣告

小川義去る六日訴訟用にて春川へ出張中の處昨夜歸宅仕候

十二月十九日 小川勝平

●恩を仇なる人非人

▽淫婦みちと情夫古谷

此の談判を受けし澤藏は兎に角本人みちに會ひたる上迷惑なき樣處置すべしとて荒太郎を歸せし跡にて澤藏は妻みちに向ひ更めて今日迄のみちとの關係を打明け今後の始末に付相談せしにみちは豫て感付き居し事なれば何等の異議も申立てざりしのみならず昨日今日の關係にても無き事なれば今更手切り足斷りと騷ぐよりは本人の心を確めし上は支店にても開業させたる方得策なるべし夫にしても二三ヶ月は同居して試ねば不明ぬ故本人を伴れ來らるべしと粹な言葉に澤藏に於て何條異議のある可き相談夫と一決したる後とみは獨心配りなりしと見へ澤藏には秘密にてみちに宛來る何日に良人澤藏永登浦に用向あり出張すべきに付同日同所に持ち受け談合の上是非とも二三ヶ月間當家に手傳ふべき心構にて同道上京せらるべし此に依りて和身の身分も決定する次第なれば之惡るなる書面を發し置きしに之を受取りたるみちは當日永登浦にて澤藏と會談の上兄荒太郎の承諾を得て當分の間一ヶ月七圓宛の手當を公然妻とみの手より表面は秘密として澤藏より小使錢とし毎月八九圓宛を與ふる事とし手傳名儀にて中根の宅に入込みたるは九月十日前後の事なりき、此より前一月中みちは中根の妻とみが不在中留守番名儀にて同家に入込みたる際私通したる古谷と夫婦約束をなし澤藏を欺かして相當の資金を取出したる上は必ず古谷と同棲すべく誓約し居たる事とて古谷はみちが公然中根宅に入込みたるを見て我事なれりと打喜びしが夫にしては少々遠退かる必要ありとてみちとも相談の上十月中龍山に一家を構へ其後の成行を覗ひつゝありき、一方澤藏は淫婦と情夫の間に斯る魂膽ありとは夢にも知らずみちに與ふべき商店開業準備として商品仕入の爲め十一月二日出發大坂に旅行し十五日歸京したり、然るにみちは關々しくも澤藏が內地旅行中を奇貨として大膽にも情夫古谷を己か部屋に引き入るゝ事も度々なりしにぞ本妻とみは見兼ねて意見せし事二三回ありしも聞き入るゝ樣子もなく澤藏が歸京當日小使錢として三圓を貰ひ受け龍山の友達の所へ行くとて立出たるまゝ三日間も歸り來らざるにぞ澤藏は不思議に思ひ妻とみに向ひ自分不在中のみちが擧動を尋ねしも初の間は其不始末を隱し居しが終に包み切れず古谷を引入れたる一條の話もなしたるに澤藏は轉さなりいかみちが姉にして下女なるりゆに姉みちを探し出して伴れ戻れと命じたるにりゆは豫て姉が古谷と關係あるを知り居るより古谷方を訪ねたるに十七日朝水票橋通り金本正男の宅に行くとて立出しとの事に同家に行きしにみちはキマリ惡くて歸れぬとて同行歸宅せざるにりゆは中根方に斯くと復命したるが此間に於て澤藏は自分旅行中の小遣錢として與へ置きし十五圓を如何に費ひ果せしか不審なりとてみちの行李を開き見しに衣類や装身具等の形跡もなく却て古谷との往復書狀數通を發見せしにぞ十七日は午前十時頃より自暴酒を呷り居たりなりき（つゞく）

●雨催冬の夜の市（上）

（十八日午後八時） 夜叉君

頃は極月中の八日の夜空ドンヨリと薄曇りなんて云ふと花節の文句染みて來るが全く星影一ツ見ねず生温かい風がスウーッと頬を撫でゝ行く薄氣味の惡い晩だ僕がヒヨッコリ民團側に現はれたのが午後七時二十五分南部警察署の前に行くと一万の柄前に手をかけて勅任官が御徒歩で來る鈴木さんらしい近眼鏡がピカッと光つたので危ぶく衝突を兎れホッと胸撫で下したエテシテ斯樣な場合には『無禮者ッ』てな物凄い聲を浴びせらるゝものソレにしても役所の歸りとすれば精勵感ずべしヨモヤ散歩でも御座るまい振り返ると旭町一丁目の方に曲つた。

各商店の繁榮振りを見んものと近視眼の悄けなさに交る／＼兩側の店頭に立つては覗き込んだ時刻の未だ早い故か何となく青春の血をそゝる春の夜の如なる晩に之れは又甚だ慶したものか散歩の方もチラリホラリ夫婦連れの彼れか是れかと品定め給料日の待ち遠し相な顏も見受けられぬ況んや店先に腰を下した買物客らしいのは十軒に一人ぐらい以て如何に不景氣なるかを察知し得べし或は晝間にヨリ多く顧客が群集するので夜間は閑散なのかも知れないさすれば如何に京城の奥樣が見榮張りで鍋ゝから御化粧三昧に入つては飛び歩きたがるかゞ知られる夫の留守にですよ三越にヤットニ十人も居たかソレも大した客らしくなかつた洋雜貨呉服下駄時計先づ以て平穩無事だ僅かに歳暮賣出しの燈灯が年の暮れと云つた感じを少しばかり浮ばせるに過ぎない本町六丁目から先きは左樣した感じも浮ばぬ程に寂しい。

●奥村千里の自白

▽露見したる榮次の素性

元京畿道廳雇員東京小石川區武島町生れ奥村千里（三二）が官金横領罪として京城地方裁判所に於て豫審終決し檢事の手にて公判に付せられし事は既報の如くなるが彼れ奥村が横領せし金は京畿道廳の如何なる部分に屬するものなるやに付聞く處に依れば彼れ奥村は京畿道廳地方費及恩賜授産金出納事務主任書記邊商容の補助を爲し居たるより道長官の支出命令に基き巡視末廣又次郎なる者をして京畿道廳金庫なる農工銀行より金員を受領せしめ來り之を爲替にて地方へ送附す可き地方費及び恩賜授産金中より十月三日より十一月十六日迄に金九百九十八圓四十錢を横領したるものなるが京畿道廳に於て奥村が檢擧せらるゝ後に至るも被害不明なりしと云へば彼れが猶一ヶ月も檢擧せられざりしならば被害額は幾何なりしか不明なる可し而して横領せる金は既報の如く新町遊廓に於て第一樓支店萬龍に一回金七八圓宛前後四十四回に萬龍には現金六十餘圓及び純金指輪を與へ十一月上旬よりは彼の京城券番の榮次が大連にて或る王突屋の女給仕として高等內侍を務し居る際關係出來居たるに突然出會したるより深くなり蕩美家にて浪費し榮次には現金及金指輪化粧品等を買與へ居たるなりと

社告

烏兎匆々極月と相成本紙新年號準備の期も愈相近かづき申候就て本紙が此際愛讀各位に御願致度は本紙新年號に掲載すべき各位玉稿の御寄贈に候其玉稿の論文たると將た美文たると詩、歌、俳句情歌端歌たるとは各位の御隨意にして本紙は硬軟何れをも歡迎仕候

新年畫附錄

本紙新年畫附錄は本紙が特に邦畫の大家川端玉章翁に依囑して成りたる勅題松上鶴の祝畫にして其高尚優美なるは贅言を要せずと被信候

十二月 京城新報社

●相生町の辻强盜

▽南部署の大活動

數日前より旭町及相生町の街路に於て夜間通行の婦人が鮮人强盜に所持品を强奪せられし屆出頻々たるより南部署は犯人搜査上事を秘密に付し各刑事を督勵して嚴探せしめつゝあり今村署長自ら變裝し長野佐藤岸の三刑事は鮮人風に變裝し其の他各警官は婦人若くは商人風に變裝し十五日夜より活動を開始したるが十七日夜に相鎭外三名の有力なる嫌疑者を逮捕し尙は日本人油見友吉をも十八日午前逮捕し目下嚴重取調中なりと

●官林盜伐頻々

▽枯損木に生木を交ゆ

東四軒町の白澤道太郎は曾つて驛忠鐵の山番たりし鮮人李某より枯損木の拂下ありと聞き同人に金十三圓を渡し本月八日店員數名を派して同地の松を切りたる山にて告發せられ又竹園町の藤村重太郎なる者は南山の枯損木の拂下を受けたるを奇貨とし拂下以外の松木を勝手に切りたるため是れ又告發せられたり

●洋服を着て監獄へ 本籍全羅南道生れ當時住所不定の李昌和（三八）は龍山にて同地桃町佐々木清一方の赤靴一足價三圓五十錢を竊取せしを手始めに去る十一月二十日には龍山元町三丁目十五番戶古着商金子某方の店頭に吊しありたる洋服一着價六圓を竊取して逃走して後本月十五日には鬪々しくも右の洋服を自分着用して同店の前を通行せし折から金子方にては自宅の被害品に似寄りたる洋服を着居るもの哉と怪み能く／＼近寄り之を檢査せしに全く被害品なれば有無を云はせず取押へ龍山署へ訴へ出でたるも言を左右に托して中々白狀せざりしが遂に包み切れずして一々罪狀自白に及び十九日檢事局に送られたりと

●官金で女郎買ひ 佐賀縣小城郡岩刈村字永田村江口鹿一（二六）が佐賀郵便局管內下川古局勤務中官金五百圓を竊取し當地に逃走し來り新町遊廓井門支店に登樓娼妓幸子（當時松枝させしは）を落籍せんとして捕はれたる事件は京城地方裁判所に於て懲役六ヶ月に處せらる

●羽織を着て逃ぐ 福岡縣遠賀郡若松町當時仁川仲町三丁目六番戶毛谷順殿（一九）が本町四丁目河合寫眞館に雇はれ中寫眞代九圓五十錢を横領し又同家を無斷逃走するに際し主人の琉球絣綿入羽織一枚を竊取したる件は京城地方裁判所に於て懲役六ヶ月に處せらる

●賭博現場を御用 佐賀縣人當時若草町一丁目中小田榮太郎（三三）福岡縣人當時櫻井町一丁目長谷川杏松（三六）福岡縣人當時若草町一丁目六十二番戶池田品次（三七）の三名は十九日午前三時頃賭博の現場を檢擧され各科料金五圓に即決

●日高貞夫の詐欺 既報鹿兒島縣人日高貞夫の私書僞造行使詐欺取財事件は檢事の同情ある論告に因り懲役一年の申渡しありしも不服として控訴したり

花柳界歳末觀

取て標題を見た斗りで『不景氣だな』なぞと云ふ可らず有無相通ずの格で不景氣だ、不景氣だと怒鳴つて景氣を附け樣と云ふ三面子相當の考へ、臭い物へ蓋主義のお有難宗とは少々趣が變つて遊廓の無い所を假名頭で井門樓から願ひます

▲井門樓主 只々今年は不景氣でしたと申す他ありません十二月に入つて少々客足も増した如ですか何しろ向ふ十二三日の間に十一月迄の食ひ込みを恢復する見込は立ません、昨年に較べるとお話に成りませんよ、這樣不景氣の歳はツン／＼と過つて終つて來る子の歳を景氣好く迎ねたいものです云々

▲同家政子 今年は淋しかつた淋しかつたホントに淋しうムいました京城に來てから初めてです、二度と斯樣目を見度く有ません、私達の如な主人持は正月が來たつて借金取が來たつて平氣の平左旦那の一人も有つた時分には貰はぬ前から思惑買をしてトンダヘマを見た事もありましたが今では只モウ地時に平常から心掛けて居ます、オヤ厭だよ、世間が不景氣だと吐く息まで靑い如な氣がするわね

▲同家鶴吉 私は當地の歳末は初てですが藝妓になつて以來の不景氣ですねお客樣方の話に依りますと總督が見へてからですつてね隨分ですね、私は旦那取りしませんから頭から無心なんて觀念がないから年の暮れだらうが夜の引き明けだらうが政子姐さん同樣樂なもの、夫れは私は子歳ですから一層來年が待ち遠ひ次第で御座いますよ、兎に角モ少し何とか成らなくてはねエ

●二階から泥棒 太平町二丁目第九號官舍山口一郎氏方二階より賊忍入り外套一着外三點を竊取し逃走したりとて其の筋に屆出たりと

廓のうわさ

▲芒尾花と諸共に世は冬枯れても當廓ばかりは又格別、此頃の寒空にも新町廓の景氣は素晴しきものにて各樓共に[illegible]新妓の輸入多く先づ一樓より花里[illegible]の二名大松屋よりは菊伊多、菊子、福太[illegible]龍子、白縫、信枝、濱子の七名濟月樓よ[illegible]りは二枚のぽん太、濟遷樓より八千代[illegible]其他京城樓より小奴小千代、小梅、小米[illegible]の四名、伊春樓より二名、日觀樓より三[illegible]名等にて爛漫たる解語の花妍を競ひ[illegible]限りなし▲若春樓の流行妓夏子の許へ[illegible]冬の夜寒も厭はずに通ひ廓の仲夢を結[illegible]び初めたるそも／＼より互に思ひ思は[illegible]れたる男と申すは噓にはあらぬ本町館[illegible]の○○○○▲京城樓の雪子（二）は[illegible]可愛痩なんて柄でもあるまいが其れ[illegible]も好きで求めた苦勞の故か此頃にては[illegible]大分面痩がした然し痩せたのは此妓の[illegible]お誂ひ向きにて元來の丸ポチャは一[illegible]女振りが好くなつたとは昨今廓內にて[illegible]の噂▲濟月樓にて二枚藝妓の金時と[illegible]さば三味は彈く共づゝは引かぬ流行妓[illegible]此妓の生命とも申すは兩の頰の笑凹[illegible]て莞爾と笑ふた時の愛嬌と來たら實に[illegible]千兩、如何なる硬骨男子も骨拔き[illegible]惱殺せらるべし▲壽町は金田寫眞館の[illegible]陳列棚に飾りてある洋裝美人の寫眞は[illegible]確見覺へのある顏だハテなと熟視れば[illegible]此なん濟月樓の花魁圖香太夫なりとは[illegible]豈計らんやだ一見貴族の令夫人とは[illegible]々勿体なさ過ぎるかも知れぬがざう[illegible]ても浮川の勤めする身とは思はれぬ程[illegible]ハイカッている所は先づ洋行歸りの[illegible]術師ヨロシグだ此妓却々愛嬌者にて[illegible]敷の面白き事天下一とは誰やらの[illegible]聰（笹之助）▲點けたも點けたも大提[illegible]（すゞめ）

平民文庫

▲先日或家に不幸があつたので會葬[illegible]た喪主であるべき道見は中學生であ[illegible]▲僕は私に係う思ふた中學校からも校[illegible]長さんか又は受持教員、同級生から[illegible]總代の一二名を會葬される事と▲然[illegible]に事は意外とも意外、校からは勿論[illegible]忽生の一人も見ね只平素私交のあ[illegible]一生が會葬してるのみであつた▲元來[illegible]生きて居るものが死んだのだから不[illegible]議はないとしても其遺族の諦められ[illegible]諦めに同情して幾分慰籍の資料とも[illegible]る手段に出るのは周圍の人の義務で[illegible]らう▲學校の教師は生徒をして學校[illegible]卒業せしむるだけの爲めの職である[illegible]すれば給料に合されない努力を要求[illegible]る拙者が無理だ▲無頼少年少女の勉[illegible]て行くのは無理がない（風閘子）▲龍[illegible]と云ふ義太夫の師匠の所夫と云ふの[illegible]通稱管引の政とか云ふ怖らしい人だ[illegible]自分所の弟子が他の師匠の所へでも[illegible]かうものない怖がらせを云ふので段[illegible]弟子は減る一方とは困つたものだ其[illegible]師匠の龍糸の腕は余良梅なぞよりは[illegible]

諸公債諸株券 現物賣買

迅速確實に御取扱可申候

兼業 既製洋服御小賣 諸官衙御用達

京城本町三丁目

大坂野村德七代理店

田中友吉商店 電話九九(一) 夜間電話(夕)

同好者諸氏に告ぐ

京都裏千家家元今日庵的傳師範代鷲山宗宙宗匠出張所の開設を請ひ代教授宗直氏渡鮮左記の所にて茶道の教授を開設され候

京城曙町十一番地

京城茶道講習會

學目藥 登錄商標

●かれこれと迷ふこと勿れ完全無缺の大學目藥あり

大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基きし貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●星目●のぼせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり

發行所 大坂市北濱一丁目 元祖 參天堂藥房

かぜねつの最良薬 本家 四ッ目の ヘブリン丸

カリバ

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八 十六番

(正價表御申越次第進呈)

銃砲火藥類直段特別割引可仕候

㊌ 共榮社小賣部

仁川本町三丁目 (電話七五番)

◎門松〆飾請負

右例年の通御便利に請負仕候間御用命之程奉願候

京城本町三丁目

伊藤組本店 電話一四七九〇五番

三割引の上に最も興味ある懸賞

開館五周年及新築發展を祝し最興味ある懸賞を提供仕候其方法は十二月の御來寫客之名に番號を附し廿番目毎に相當する御方には其一圓と十圓とを問はず撮影料を無料とし當籤外の御方には御支拂高一圓毎に聯合大賣出景品券總額七千二百圓を一枚宛進呈仕候(但以上の特權は前金御支拂の方に限)故に新年の混雜を避け最完備丁寧なる弊館に御來寫遊されなば一擧兩德と存候詳細說明書御申越次第進呈仕候

南大門通り 電話一〇四〇番

京城寫眞館

改正寫眞材料目錄

洋裝クロース金字入美本三百二十頁

附各種材料使用法及藥品調合法

本年七月新關稅法實施の結果輸入寫眞用品の大部分に價格の變動を來す事となれり弊店は率先して改正目錄を編纂し加ふるに各種乾板印畫紙其他材料の使用法及種々なる現像藥品等の調合法を附錄せり

御希望の方は製本實費の四分一及郵送料として金參拾錢御送附あらば送本す

懸賞附ウエリントン乾板

英國第一等たるウエリントン乾板發賣以來非常なる高評を以て歡迎せられ殊に懸賞附乾板は毎日金メタル或は時計等出現するため實益と趣味を以て意外なる多數の賣行を見るに至れり懸賞附は數量に限りあれば賣切れざる内に陸續御注文を希望す

寫眞器械輸入元

東京市日本橋區本町二丁目 淺沼商會本店

支店 大阪市南區順慶町四丁目 京都市寺町通佛光寺下る

業務擴張 移轉御披露

今般業務擴張の爲本町五丁目(釘本商店前へ)移轉仕り

本月十日より移轉御披露として破格の廉價を以て仕候間倍舊の御引立願上候

●外ニ聯合大賣出景品券進呈致候

御移轉披露 大賣出 本月十日ヨリ三十一日マデ 正札ヨリ五分引

京城本町五丁目(釘本商店前)

㊈ 桑原支店 電話一九二〇番

政宗 正則 正清 釀造元

酒 小賣壹升に付二十五錢

卸者は特別割引可仕候

清酒 味淋 燒酎 醬油 並に日用食料品雜貨類

京城壽町三丁目

釀造元 中井酒造場販賣部

電話百七十七番

電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

謹告

弊店儀先般金露壹升瓶詰發賣以來御愛飲各位の御贊同を以て非常なる盛況を得し段奉深謝候就ては今回更に体裁優美なる金露四合瓶詰化粧箱入を左記の値段を以て御報恩の爲め歲末始の御贈答用佳品

品質價格の御鑑別は全く他の追從をゆるさず

仕候間直接又は最寄の販賣店にて御購求の程奉希候 敬白

大坂衛生試驗所檢查證明封緘貼付

朝鮮總督府衛生試驗所檢查合格

大安心

登錄商標 金露 醇良清酒 吟釀 萬民賞讚之

金露印清酒 釀造發賣元

金露四合瓶詰壹打化粧箱入 金三圓四十五錢

金露四合瓶詰半打化粧箱入 金壹圓七拾五錢

金露四合瓶詰壹打括 金參圓參拾錢

金露四合瓶詰半打括 金壹圓六拾五錢

金露一升瓶詰一本 金七拾五錢

外に酒券 体裁優美高尙なる切手發行仕候 酒量壹升以上 金額五十五錢以上

京城明治町一丁目

大塚京城支店 電話四〇一番 振替口座京城五七〇番

◎祝 本邦關稅改正と狩獵期新輸入の獵銃は狩獵稅低減 特別一割引乃至二割引の大廉價販賣

((東京日本銃砲店新輸入))

(護身用新形拳銃價四圓より新式自動拳銃價三十圓迄各種々相揃)

東京 日本橋區通三丁目 日本銃砲店

良品を廉價に販賣すは叮嚀親切を旨とし

(遠國注文代金引換小包便販賣無料送金は振替郵便二三三番)

(營業案內上下二冊無料郵呈 獵友雜誌毎月發行見本二十錢)

(最新式ブローニング自動散彈銃)

保險付廿餘時間耐時法規價三圓八十錢以上

歲末年始贈答品には頭に上らぬ一日醉のせぬ清酒の

本場灘御影町 嘉納合名會社釀造

白鶴印壜詰(防腐劑なし)

壹打函半打函切手及樽詰等を御進め致し升

白鶴

特約店 京城本町

前田酒店 電話一三七番

田中支店 電話七六四番

(創立明治五年六月)

資本金 百二十五萬圓

積立金 六十万七千圓

貨物運送取扱 危險擔保運送 貨物引換證發行 品代金貨物取扱 稅關貨物取扱

內國通運株式會社京城支店 電話長一七九 一、二七五 一〇八

本店 東京市日本橋區佐內町三番地

支店 京城南大門驛前

釜山驛前 釜山出張所 電話三五七

草梁驛前 草梁出張所 電話九〇四 六一六

仁川驛前 仁川出張所 電話長二八

龍山驛前 龍山派出所 電話五一一

平壤驛前 平壤出張所 電話二〇六 長一六

漆器家具

新年御祝用重箱盃及ビ膳椀るい取揃あり

非常なる安價の上景品を呈し候間御買求の程願上候

京城本町三丁目

笹本商店 電話一一八八番

文房具 和洋紙 測量器械

日本政府檢定濟度量衡器特許輸入販賣所

シノサキ本店

京城本町一丁目(郵便局前) 電話七百五番 電話長六四八番 振替口座朝鮮一五四番

建具製造販賣

◎襖材料卸賣並ニ襖製造

◎仕入レ建具類及ビ附屬品各種

◎簞笥類各種

建具製造 襖材料卸

京城南大門外御成町

商 ㊇ 三好市太郎 電話五九六番 振替口座京城二九七番

優等清酒

香氣 馥郁

釀造販賣元

仁川港

吉金酒店 (電話七六四番)

例年之通景品附

◎歲暮御贈答品大賣出

▲左記御贈答用品として取揃居申候

▲鰹節箱入▲鰹節袋入▲砂糖類一式▲奈良漬樽詰▲鮭粕漬樽詰▲鮭粕漬▲鮭味噌漬▲各種漬物▲西洋酒類▲櫛形印醬油▲甘露醬油瓶詰▲櫻正宗瓶詰▲西洋菓子▲乾物類▲罐詰類▲雲丹瓶詰

●商品切手

陸軍 諸官衙 御用達

京城本町五丁目

㊅ 大上友太郎商店 電話二百五十壹番

効能ある温泉

鐵冷温泉

旅館並に浴客席貸

京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行北横手)

廣安喜次郎 電話一四一一番